補習校ネット

多様な生徒がともに力を伸ばす補習校を

今週の一言

AIは補習校のことも意外とよく知っています。

（授業研究会）

説明は２ページに

例えば、「〇年生の単元「〇〇〇」を補習校で3時間扱いでやりたい」と聞くと、そこそこ妥当な指導計画を提案してくれます。「日本語が弱い生徒には」というヒントがあったり、「ワークシートを」作りましょうか」と言ってきたりすることもあります。アイデアが出て来ないときなど少なくともいくらかの助けにはなります。

「補習校ネット」の成果もウェブ上にあるので、AIはきっと学んでいるに違いありません。